

山の百の花

講師 大津 洋介

【39】ユキツバキ

早春、まだ雪深い荒島岳を下りる途中、休んでふとブナの樹林に目をやると、赤い小さな花が目に入りました。近くによるとユキツバキの花でした。なんとも寒々とした雪の中に可憐に咲いていました。

ツバキというと、海岸や南のほうにある樹木と思われがちですが、ユキツバキは、主に日本海側の標高300〜1000mに生育しています。ちょうどブナ林がある標高なのでブナ林とセットで生育しています。こんな環境の中に生きているユキツバキですが、決して寒さに強いというのではなくて、むしろツバキより弱いと言われています。では、ユキツバキの寒さ対策は？というところ、冬の間、雪の軟らかい布団の中でじっとしているのです、風など寒さから身を守ることが可能なのです。

雪の中に埋もれてしまうので、樹木といつても2m程度の背丈しかありませんし、枝は雪の重さで地に這うようになります。さらに雪の重さで地表面と枝がくっつき、

そこから新たに根が出るクロン繁殖をしているものもあるようです。

花は早春に咲き、ツバキと似ていますが、おしべの筒の部分が、ツバキでは白色に對して、ユキツバキは黄色をしているのが特徴です。

早春のユキツバキの花、もう一度見てみたいものです。



【40】タムシバ

早春の花の代表選手、タムシバ。4月上旬の西上州、車を運転していると、まだまだ冬景色の山肌に、点々と白い花が咲いているのを見ました。タムシバがいたるところに咲いているのです。春の訪れを強く感じました。

タムシバは、コブシやモクレンと同じモ

クレン科の樹木です。まだ葉がでる前に花を咲かせるので春の到来を強く感じる事ができます。遠くから見ると、コブシとなかなか見分けが付きませんが、コブシは花の基部に1枚の若葉があるのに対し、タムシバはないのが特徴です。また、コブシはどちらかと言えば丘陵地に生育するのに対し、タムシバは山地に生育します。そういえば、葛温泉からタクシーに乗ったとき、山の斜面に真白な花がたくさん咲いていました。運転手さんは「コブシの花がたくさん咲いているから今年はずいぶん雨が降る」と言っていました。ずいぶん山奥にあったので、あの花はたぶんタムシバの花だったろうと今になって思います。

